



## 2019年ノーベル化学賞受賞者

# 吉野彰特別栄誉教授が4月1日、終身教授に就任 ノーベル賞メダルレプリカの寄贈式を12日開催

リチウムイオン電池の開発で2019年ノーベル化学賞を受賞した吉野彰特別栄誉教授(73)が4月1日、終身教授に就任しました。今後の呼称は、名城大学終身教授・特別栄誉教授となります(特別栄誉教授の授与は2020年2月25日)。

終身教授の就任は、青色LEDの発明で2014年ノーベル物理学賞を受賞した故赤崎勇終身教授・特別栄誉教授とカーボンナノチューブを発見した飯島澄男終身教授(81)が2010年4月1日に就いて以来、3人目です。

終身教授は、本学における教育・研究の推進及び活性化並びに本学の行う社会貢献活動に寄与することを目的として2009年11月に制度ができました。定年は設けず、著しい功績等をあげた教授などが就任します。

またノーベル賞メダルレプリカを本学に寄贈いただけることになり、寄贈式を開催します。



吉野彰終身教授・特別栄誉教授

日時	2021年4月12日(月) 14:00~14:45
場所	天白キャンパス 本部棟5階 第一会議室
内容	ノーベル賞メダルレプリカの寄贈式 吉野彰終身教授の挨拶 感想など簡単な質疑の時間を設けます。
取材要領	新型コロナウイルス感染症防止のため、マスク着用、検温、手指消毒、離れて着席、腕章着用とさせていただきます。 取材していただける場合は、 <u>4月9日(金) 15:00までに</u> <a href="mailto:kouhou@ccmails.meijo-u.ac.jp">kouhou@ccmails.meijo-u.ac.jp</a> へメールでお知らせください。 メールタイトルは「吉野彰終身教授・社名」とし、本文には①部署名 ②担当者名 ③電話番号 ④参加人数 ⑤乗り入れ車両(タクシーは記入不要)をご明記ください。